





鎌倉交響楽団
第54回定期演奏会

 神奈川芸術祭交響楽フェスティバル参加

 かまくら文化祭参加

'89 10月29日(日) 2:00p.m.

鎌倉市中央公民館分館



前田幸市郎先生を偲んで

鎌倉交響楽団団長 伊沢龍作

鎌倉交響楽団創立間もなくからの育ての親であり、今日に至るまで常任指揮者として御指導を仰いだ前田幸市郎先生は去る9月18日早朝、東京女子医大病院にて68歳をもって帰天されました。この6月にカトリックの洗礼を受けられた先生を偲んで東京カテドラルで盛大な告別式が行われました。ここにその逝去を深く悼み心より御冥福をお祈り申し上げます。

前田先生は1921年6月、加賀前田家の一族である前田利功氏の三男として東京に生まれ、学習院から東京音楽学校（現芸大）研究科を卒業され、尾高尚忠、橋本国彦、ヘルムート・フェルマー、クルト・ヴェスの各氏に師事されて指揮者の道を歩まれ、フォーレ、デュリュフレ、ドボルザークのレクイエムの日本初演を初めとして宗教曲を中心に輝かしい業績を残され、また横浜国大、山形大で教えられて数多くの合唱団を育成されました。

先生が初めて鎌響の定演を振られたのは64年5月の第3回定演のベートーベン交響曲第5番「運命」を中心とするプログラムでした。以来、オーケストラとは名ばかりの十数名の集まりの時代から100名を越える今日まで、御多忙なスケジュールをさいて御指導いただき、夏は蝉しぐれ、冬は寒風吹き込む御成小学校音楽室での練習の数々をお願いしてまいりましたが、とりわけ御息子の幸康氏をソリストに迎えたドボルザークのチェロ協奏曲（第20回定演）、公民館の舞台に応急のはり出しを作って実現した念願の第9（第40回定演）、そして今となってみれば最後の演奏会となった第50回定演（ベルリオーズ「幻想交響曲」他）は昨日のここのように思い出されます。先生の御快復を待ちながら果せずに行われた昨秋第52回定演には心のこもった激励の祝電をいただき一同心を熱くしたものです。

こうした日々の練習と演奏会を通じて先生はアマチュアの私達にも分けへだてなく音楽の基本を示され、しばしば情熱から形を崩しがちな私達の演奏に対し「フォルテはきれいに響く音で」「ピアノでも芯のある音で」と説かれ続けました。温顔の中にも音楽に対する厳しさを一歩たりとも譲らぬその姿勢に私達は幾度となく居ずまいを正したものであります。

先生を喪った悲しみは癒し難くその空白は埋めようがありませんが、先生の音楽はこれからも長く団員ひとりひとりの心の中に、鎌響の響きの中に生き続けていくことでしょう。

今日、先生を偲んでベートーヴェンの交響曲第3番から第2楽章を演奏し、団員一同心から御冥福をお祈りいたします。

鎌倉交響楽団第54回定期演奏会

指揮／古谷誠一

ベートーヴェン 交響曲第3番変ホ長調「英雄」から第2楽章

ベルリオーズ 序曲「ローマの謝肉祭」

モーツァルト 協奏交響曲変ホ長調K.364 指揮・ヴィオラ／藤原義章
ヴァイオリン／景山誠治

I アレグロ・マエストーソ

II アンダンテ

III プレスト

＜休憩＞

シベリウス 交響曲第2番ニ長調

I アレグレット

II テンポ・アンダンテ・マ・ルバート

III ヴィヴァーチッシモ

IV アレグロ・モデラート

〔後援〕 鎌倉市

今日の曲目紹介

ベルリオーズ 序曲「ローマの謝肉祭」

今日「名作曲家事典」にその名を連ね「近代オーケストレーションの父」と称せられているベルリオーズですが、その一生は「七転び八起き」、実に波乱にとんだものであります。

父の命令によりパリで医学を学んでいた彼でしたが「好きこそ物の上手なれ」、やがて父の反対を押し切って作曲の勉強をします。しかし、仕送りを断たれて生活は苦しく、ローマ賞コンクールには何度も落選してしまし、おまけに憧れの女性(女優のハリエット・スミスソン)には失恋すると、散々でした。けれども「石の上にも三年」、とうとう四度目の挑戦にしてローマ大賞を受賞し、さらにあのスミスソンと結婚してしまうのです。これでようやく運が向いてきたと思いきや、彼の作品はフランスの人々から受け入れられず、劇場からも締め出されてしまいます。が、「捨てる神あれば拾う神あり」、ドイツやロシアでの演奏会では大成功をおさめ、自信をつけた彼はフランスの楽壇に挑戦すべく、作曲・評論活動にうちこんでいくのでした。やがて彼の死後、フランスでも彼の作品は脚光を浴びることになり、こうして彼の努力は報われたのでした。

さて、本日演奏される「ローマの謝肉祭」は歌劇「ベンヴェヌート・チェリーニ」の序曲として作られたもので、サルタレロというイタリアの郷土舞踏をモチーフにして作られています。(曲の一番最初に出てくるのが、そのメロディーです。)サルタレロはイタリア語で「小さな跳躍」と訳される通り、小さなステップを踏むテンポの速い踊りで、ベルリオーズもローマ滞在中に時々郊外へ出かけ、村人達と真夜中まで踊ったということです。また、パリ・オペラ座の音楽監督が「ベンヴェヌート・チェリーニ」の練習で、このサルタレロの速いリズムをうまく指揮できず役を降りてし

まったというエピソードが残っています。

モーツァルト 協奏交響曲変ホ長調K.364

はじめまして。私の名前はピオラ。

さて、皆さんは我々のことをどの程度ご存じかな?同じバイオリン族でありながら、バイオリンやチェロと比べると目立たない存在である。また、バイオリンよりもやや太めにできている為、彼らのように敏捷に動くことが難しい。また、音域も低い為合奏でメロディーを弾くことは少なく、大抵の場合内声を受け持っている。それに今でこそ素晴らしいピオラ奏者が大勢おられるが、16世紀に誕生してからの長い間「バイオリニストになれなかった人達が弾く楽器」だったのである。(全く失礼な話である。)

しかし、その一方で、数こそ少ないが我々の存在をちゃんと認めてくれていた人達もいたのである。例えば、あのモーツァルト。話によると彼は自分でもピオラを弾くのが好きだったとか。本日演奏される「バイオリンとピオラの為の協奏交響曲」も、彼が友人と演奏する為に作った曲だそう。協奏交響曲」というのは18世紀末にパリを中心に流行していた様式で、モーツァルトは何回も作曲を試みている。が、楽譜が紛失したり作りかけのまま終わってしまったりで、本日のこの曲は完成した数少ない作品の一つなのだ。

おっと。そろそろ出番のようだ。普段はあまり表に出ることの無い我々ピオラの魅力を是非味わって頂きたいものである。(自分の事ばかり言っちゃって、バイオリンさん、すみません)それから、この曲では面白いことにピオラのソロは半音高く調弦して演奏するように書かれている。(その為譜面は半音低くなっている。)これはピオラの音色をより良く響かせる為だそう。

それでは、舞台の上でお目にかかりましょう。
(Va 吉浦直子)

シベリウス 交響曲第2番ニ長調

シベリウスは、祖国フィンランドをこよなく愛した作曲家である。フィンランドという国は、ヨーロッパの国の中でも最も北に位置しており、短い夏が終わると、寒い太陽すらない冬の生活を半年以上も送らなければならないところである。ここでは、日本では想像できない厳しい自然との戦いがある。また、フィンランドは、永年帝政ロシアに支配され、人々はその圧制に苦しめられていた。

このような状況の中で、シベリウスはフィンランドの民族的精神を音楽のうちにそそぎ込み、折柄の独立運動の人心高揚に貢献したとして、終身年金を国家から与えられるようになった。この年は、1897年。シベリウスは未だ32歳の青年音楽家であった。

1899年には第1交響曲が完成した。この曲には、帝政ロシアに虐げられた人々の心情と反抗の精神が表現されている。

この様に、シベリウスはドイツやロシアの音楽の影響を受けながらも、風土や気質を反映させた熱血をその作品へ注いで独自の境地を築いた。このことは、彼の音楽に触ればたちどころに理解できるであろう。

この第2番の交響曲は交響曲第1番とそう離れていない時期(1901~2年)に作られ、構成的にも大差ないにもかかわらず、シベリウスの全作品中、最も色彩感に富む壮麗なものといえる。

それは、イタリア旅行によって触発されたから

といわれている。

意表をつく転調、金管群による爆発的な叫びといった技法上のことから、民謡風な主題のあつかい、いつ果てるともわからぬような息の長い音の動き、それらを交えながら各楽章がそれぞれ交響的幻想曲のような趣きを持ち、しかも愁いを底流とした感情によって全体の関連が保たれている。

この交響曲は、技法上はわれわれアマチュアにとっても演奏可能なものである。例えばマーラー、リヒャルト・シュトラウスのような、弦楽器の高度な指使い、金管の体力の限界で演奏しなくてはならないような難しさはない。

しかし、前述のような複雑な背景のうちに作曲された曲である。そのため、他の国の干渉もなく豊かな自然の中で暮らしてきた我々が、この曲が持っている本質を演奏に織り込んでいくのは至難の技であろう。

この意味では、我々にとってシベリウスの音楽は最も演奏が難しいといえるかもしれない。

このような曲を、たかがアマチュアの鎌響が演奏しようなどというのは、暴挙以外のなにものでもない。しかし、そういわれると挑戦したくなるのが鎌響の鎌響たるゆえんかもしれない。

めくら蛇におじずということわざがあるが、鎌響の目も少しづつ良くなってきている(と思われる?)今日このごろである。

あえて蛇に挑戦した鎌響の演奏で、みなさまの心の中に、フィンランドの情景が浮かぶようでしたら大成功。

ご感想はアンケートにて、お聞かせ下さい。お待ちしております。
(Hr 佐藤仁樹)

イベント 雑貨店

株サイガード

横浜市中央区万代町3-5-15
(文化体育館裏通り)

《祭事用品専門処》

- ぬいぐるみリース ●アドバルーン
- 名入風船 ●のぼり ●提灯 ●はんでん
- 三角くじ ●記事 ●えんにち用品

われたら
1円ダ!



045-681-1121(代表)

FAX 662-7779

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのフイックサービス
午前中にお出し下されば夕方迄に仕上がります

ファッション クリーニング

スピード・クワイック

- AM9:00~PM7:00(日曜定休)
- 逗子本店(71)3293
- 逗子駅前店(73)8114
- 逗子ハイランド店(72)1131

- 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501
- 鎌倉大町店(25)3722
- 鎌倉深沢店(32)2751
- 藤沢店(22)5595

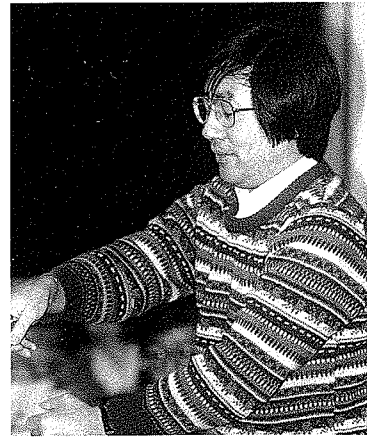
- 茅ヶ崎十間坂店(85)9209
- 茅ヶ崎共恵店(85)7310
- 茅ヶ崎矢畑店(86)6607
- 茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

プロフィール

(指揮) 古谷誠一 ▶

1953年生。東京大学文学部卒。卒業後、桐朋学園音大で指揮を小沢征爾、秋山和慶、岡部守弘、堤俊作各氏に(作曲・ピアノを故・矢代秋雄、三善晃各氏に)師事。

二期会中・四国支部「魔笛」公演を指揮してデビュー。日本バレエ協会との公演、F. アーヨ氏との共演、オペラなど幅広く活動の場を広げている。現在、名古屋芸術大学講師。名古屋シティフィル 常任指揮者。



◀(指揮・ヴィオラ) 藤原義章

1942年生。イエール大学、ボストン大学、国立音楽大学で室内楽、指揮、ヴィオラ、古楽器ヴィオラダモーレを学ぶ。W. トランブラー、O. ミュラー、B. アール、滝川広氏らに師事。都響、新日フィルで首席ヴィオラ奏者を歴任。

田沢湖音楽祭音楽監督、モーツァルトアンサンブルオーケストラ、オルフェウス弦楽合奏団指揮者。日本アマチュアオーケストラ連盟、軽井沢サマースクール、インターナショナルコンセルヴァトリー、山梨大学講師。『音楽リズムのサイエンス』(白水社近刊)を執筆中。



(ヴァイオリン) 景山誠治 ▶

1959年生。東京芸大卒。5歳よりヴァイオリンを始め、G. ボッセ、吉永清子、海野義雄、浦川宜也各氏に師事。80年民音室内楽コンクール第2位および斎藤秀雄賞受賞、81年安宅賞、ヴィニャフスキー国際コンクール第4位入賞、84年ロン＝ティボー国際コンクール1位なしの第2位入賞、同時に3つの特別賞受賞。N響、都響、東フィル、日フィル、大フィル、87年来日したルツェルン祝祭弦楽合奏団と共演のほかサイタル、室内楽など幅広く活躍。ドイツ民主共和国を初め、ノルウェー、フィンランド、イギリス、スペインなど海外公演も多い。東京芸大講師。



私の楽器 —よみがえったトランペット—

トランペット(英語:Trumpet, 仏語:Trompette, 独語:Trompete, 伊語:Tromba)語源はギリシア語のストロンボスもしくはラテン語のストロンブス(strombus)で「巻き貝、かたつむり」の意味。日本語の「ラッパ」はサンスクリット語(梵語)で、中国語ではこれに喇叭(ラ・パ)という字をあてた。

通常トランペットは金属製で、唇のあたるマウスピース部分と先端にベルと呼ばれる朝顔状に広がった形をした円筒型の管で出来ており、その中間部に3本のバルブがあって、管の長さをかえるしくみになっている。金管楽器の最も大きな特徴はその発音原理にあり、上下の唇を振動させ、管の長さに応じた振動波をつくって音の高低を持たせることにある。例えば、「ビール瓶をうまく吹けば音が出る」ということは多くの人を経験していることで、吹き方によっては(強く吹けば)オクターブや5度の音程が出ることもある。これが金管楽器の基本的な音づくりの原理である。金管楽器はバルブを使わなくても、信号ラッパで使われる、ド・ソ・ド・ミ・ソ・シ・ド……などの自然倍音を、息の早さなど吹き方で吹き分けることができる。倍音列の間を、全音、半音、全音+半音の音程を下げる3本のバルブによって補い、全半音階を演奏できるようにしてある。

トランペットの歴史をひもといてみると、古くは紀元前2世紀時代のエジプト絵画に現われる。金管楽器は、その素材からも、音響からも、王家の権威の象徴、戦争行進にうってつけの楽器で、彫刻などにもよく見られる。トランペットは17世紀になると楽器らしく形を整え、独奏楽器として登場する。この時代は変ホカニ調のものが一般的で、これに替管を付けてハ調トランペットにすることができた。当時のドイツではニ調のものが一般的であったため、トランペット用の曲もハ調やニ調のものしかない。例外として、バッハの「ブランデンブルグ協奏曲2番」のような作品には、ハ調といった小さな楽器を必要とした。この曲のように、特にバッハが好んだ高音域では、倍音の

間隔が狭く半音階的な音形を演奏することができ。しかし、これを吹きこなすことは、十分に習練を積んだ演奏者にとってもきわめて困難であった。以後、現在にいたるまで、キー付きやバルブ付きが登場して、改良を積み重ね現代トランペットにいたることになる。バッハにいたる黄金時代以降、ヨーロッパ宮廷の衰退にともなって、トランペット音楽も衰退した。そして、現在のトランペットの出現によって、トランペットは音楽の中での位置を回復することになる。ロマン派の作曲家はこれを巧みに使い始め、近代にいたって、オーケストラ音楽になくはならない存在となった。ベルリオーズはトランペットを「音質は高貴で輝きにみちている。そして、凱旋の歓喜とか、復讐に対する激情とか、叫びを表現するのに適しており、それ自体、精神的な、高尚な、しかも高い情緒を劇的に表現することができる」と述べている。

現代トランペットは変ロ調のものが一般的で、ブラスバンドやジャズなどに多く使われ、親しまれている。近代では管弦楽に色彩を与えるためと演奏を容易にするなどの理由で、ハ調トランペットがシンフォニー・オーケストラで使われることが多く、バロックなど古典の曲によってはニ調などその時代の楽器と同じ調のものが使われることが多い。これは指揮者や演奏家が、トランペット管の調に物理的な管の長さ以上に、音色の違いを求めていることによる。

トランペットやホルンの譜面は、曲の主調や属調で記譜する場合や、作曲家によっては常にイ調で記譜するような場合すらある。例えば、シベリウスの「交響曲2番」では、トランペットはヘ調で記譜されている。実際にはヘ調でなく、ハ調もしくは変ロ調のトランペットを使うことになる。このような例は多く、金管楽器(トランペットとホルン)奏者は、なんと移調しながら演奏する運命を持っていて、これも隠れた演奏技術となっている。(高橋善彦)

'90 ニューイヤーコンサート

- とき 90年1月21日
- ところ 鎌倉市中央公民館分館
- 指揮 古谷誠一

第55回定期演奏会

- ドボルザーク 交響曲第8番他
- とき 90年5月
- ところ 鎌倉市中央公民館分館
- 指揮 古谷誠一

あなたも鎌倉で
音楽しませんか

鎌響団員募集中!

練習は毎週1回御成小学校で
経験者歓迎

※連絡場所 田中宅
☎0467-25-3512

言葉を愛し、文章を書いてみませんか。

河内
印刷・自費出版
工房

〒101 東京都千代田区西神田1-4-12 奥田ビル202号
TEL 294-3629 FAX 291-7040

鎌倉の駅を通過して
道すがら
若宮大路の左角
『酒まん処』ここに有り
高級 炭火 燗



鎌倉市小町1-5-24
☎0467-22-0666



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

◆ 団員出演者名簿

指揮者 古谷誠一 技術顧問 吉水洋・藤原義章
 団長 伊沢龍作 運営委員長 山本賢二 インспекター 上田和男
 コンサート・マスター 松野美智子

- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <p>Violin
荒木石井魚宇遠小川喜多
石橋上住多藤沢西喜多
井橋上住多藤沢西喜多
魚宇遠小川喜多
宇遠小川喜多
喜多</p> <p>Viola
内岡椀川清</p> | <p>Cello
○桐齊佐菅曾高田富中中永西峰馬原府藤前増松八八山内岡椀川清</p> <p>Bass
○北真広矢菊曾高嶋中田林田</p> <p>Flute
○吉小高</p> <p>Oboe
○高</p> | <p>Clarinet
○伊内片川金矢射入西細松小坂佐徳幡福藤山和山高武津本有府藤藤煤今高根</p> <p>Bassoon
○西細松小坂佐徳幡福藤山和山高武津本有府藤藤煤今高根</p> <p>Horn
○藤山和山高武津本有府藤藤煤今高根</p> <p>Trumpet
○高武津本有府藤藤煤今高根</p> <p>Trombone
○有府藤藤煤今高根</p> <p>Tuba
○今高根</p> <p>Percussion
○今高根</p> | <p>雄二志郎一清彦子男作豊子男子男子悟広嗣一宏樹明夫夫彦郎弓洋行夫健夫樹子花夫志司
 重洋正平恵和直達龍寛和淳俊朋達雅幸良義典哲定達真雅澄秀美弘由龍隆幸
 山口中谷島上幡浦田沢田場田本野藤木々中川井野城見沢内橋川貝瀬野竹根橋中田林田
 田田畠日比福水八吉飯伊稻射上岡小岸齋鈴瀬田谷中松結吉梅大大北真広矢菊曾高嶋中田林田</p> | <p>*町山賢
 田本賢
 さゆみ
 賢二
 千枝子
 真知子
 優光
 俊
 裕祐
 松小坂
 佐徳
 幡福
 藤山
 和山
 高武
 津本
 有府
 藤藤
 煤今
 高根
 高根</p> |
|--|---|---|--|---|

伝統をかけた最高の味

千羽鶴サブレー
フデンス風ビスケット



由比が浜店 TEL.(22) 0963(代)
鎌倉表駅前店 TEL.(22) 2538

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇
TEL.(22) 2370

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(ヤのヤビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大勝ビル1F)
TEL.(0467)87-1145

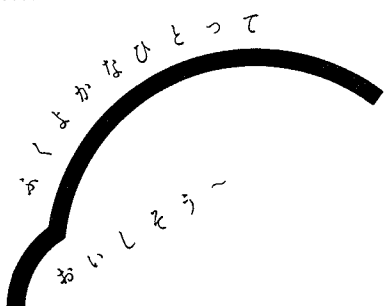
カフェ & レストラン



鎌倉駅西口ヤノヤビル2F
TEL.24-9755



(新)遠近両用
累進多焦点レンズ
各社取扱い
・コンタクト用
(ソフト・ハードケース)取扱
(クリナー・保存液)
optical shop
KAMAKURA
森川眼鏡店
☎(22)2964



市役所通りのパン屋さん
リトルマーメイド
TEL.25-5025

健保・労災取扱

大船
整骨院

佐藤元一
大船駅前 協和銀行隣
サトウビル
☎0467(45)6700(代)

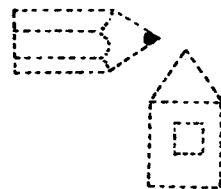
31-1960

あなたの音楽の要求をプロの店
ミュージックショップY
が解決します。
レコード・楽器・楽譜・オーディオ
のご相談は
“音楽の出前持ち”
ミュージックショップY
TEL.31-1960 鎌倉市七里が浜東4-14-1

中国料理

なんぽえん
あ(南)園
NAMPOEN

電話0467(24)7088
(22)4533
御祝事、御法要、立食パーティー
など出張出前致します。
中華、和食、お惣菜コーナーを御
利用下さい。



一級建築士事務所
B-R DESIGN
鎌倉市大船2-19-36 渡辺ビル205
TEL.0467-47-4731

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壱番館ビル3階
電話 (24)7273



手軽な音声会議を実現しました。



標準価格 149,000円(税別)

みんなで話せる。みんなで聞ける。

voicepoint
テレミーティングターミナル AEC-40

“驚くほどキレイな声で、みんなで同時に一緒に話せる、聞ける”
コンパクトな音声会議ターミナル《ボイスポイント》、
NECのエコーキャンセラ技術が実現しました。

意外なところにビジネスのネットワークを鈍らせる障害があります。たとえば、“また聞き”による伝言ミス、会議のニュアンスまでは十分に伝えきれない書類、あるいはただ会議にでるための出張……。電話一本で、必要なときにキーマンたちと同時に打合せすることができたら、ビジネスはもともと効率的にすすみます。そんな手軽なテレミーティングを実現したのが、NECの新製品《VoicePoint》です。コンパクトなボディに、マイクとスピーカ、そして嫌なハウリングやエコーを追放するエコーキャンセラを内蔵。電話機に接続するだけで、ハンズフリーで多人数と多人数との音声会議を実現します。もちろん面倒な調整は一切不要。しかも、今までの音声会議システムでは考えられなかった低価格を実現しました。ミーティングや会議というビジネスの基本業務の効率化に大きな威力を発揮する《VoicePoint》、最も身近なデスクサイドのOAマシンとして、いま大きな注目を集めています。

みんなで話せる《ボイスポイント》、新登場。



日本電気株式会社
日本電気テクノマーケティング株式会社

資料請求：日本電気テクノマーケティング株式会社 送信機器部 〒108 東京都港区芝四丁目7-8 (三軒エスワカマツビル) TEL. (03) 798-7847

●この広告に掲載の商品及び取付調整費、消耗品、オプション等について消費税は含まれておりません。ご購入の際、消費税が付けられますのでご承知おき願います。

資料請求券
voicepoint

おかげさまで90年